

【中区】令和2年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和2年6月9日 午後2時45分 ～ 午後3時45分
場 所	中区役所7階 703会議室・704会議室
出席者	【座 長】伊波俊之助議員 【議員：2名】松本研議員、福島直子議員 【中区：27名】直井ユカリ区長、吉田美幸副区長、 秋元政博福祉保健センター長、関野昌三福祉保健センター担当部長、 味上篤中消防署長、中山昭中土木事務所長 ほか関係職員
議 題	1 令和2年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画について 2 その他
発 言 の 旨	議題1 令和2年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画について 福島議員：3ページの地域防災力向上事業ですけれども、先ほど、今後のコロナ流行中の避難所運営の在り方についてお話しいただきましたけれども、おそらく計画策定出来次第ということでしたけれども、いつどうということが起きるか分からないので、急がれるわけでありますけれども、最大限、いつ頃になりそうか。 森山総務課長：今月中には形を出していきたいと。どうしても課題になって止まっているところがありまして、そこが解決できれば、今でもと言いたいのですが、今月中には、しっかりと、お出しできるようにと考えています。御意見を聞きながら、直すことも可能でございます。 福島議員：それはエリア的に何かこう、この地域には特別、避難所がないとか、そういうことですか。 森山総務課長：いわゆる大雨の避難場所の方の話ですか。 福島議員：場合によるんですね。 森山総務課長：そちらの方は、取りあえずは、まずは、いつもの5か所は確保しながら、さらにどう広げていけるのかというところも踏まえて、場所の選定と確保、場所選定した場合に、前回も、少し誘導の仕方ですり足りないところもございまして、そのへんのルートもしっかりと考えて

いきたいと思っています。それと、今、5つの中でも、例えば、発熱をされてる方をどうしようかということで、別室をお貸しいただけるといいうお約束をいただいているところが2か所ございますので、そこについては、今回、崖関係の避難のチラシを入れさせていただくことにします。その2か所をメインにしながら、そこであれば、取りあえず、大丈夫なところは先にお見せしようかと考えております。

福島議員：悩ましいところで、一番いいのは、逃げなくすむような自宅に住むというところが大事なんですけど、どうなるか分からないところがありますので、何とも言えませんが、そういった啓発もですね、自宅避難というのが一番、自宅の防災性を高めることがとても大事ですよということも同時に啓発しながら、対応策を徹底していただけたらと思います。それから、次が6ページであります、ヨコハマ3R夢プランの最終目標達成に向けということで大詰めなんですけども、新しい住民の方も増えまして、ぜひ、先ほどもDVDをいただきましたけれども、分別の仕方が、今、スマホなんかでも簡単に検索できるようになっているんですが、その知識を知らないという人もいらっしゃるんで、例えば、ごみステーションにQRコードかなんかで読み取ると、これで全部、情報が分かるんだよみたいなことを啓発していただけたらいいかなと思ったんですね。なんかそんなことを工夫していただきつつ、あと古布の、あまり出さないでという啓発ですね、それも、なかなか伝わっていないようですので、全部のステーションに貼るのって大変だとは思いますが、戸別配布にするのかステーションに置くのか、結構、大胆に若い方なんか、ごみ捨てていくんだなって、目撃を何度かしまして、びっくりするほど真新しいお洋服をばーんと捨てることが分かりましたので、そんなことも含めて、ちょっと、もう少し、もう一押し、啓発、現場でもできるような工夫をしていただきたいと思います。

西村資源化推進担当課長：今、先生から、お話いただきました、QRコードの関係ですが、これにつきましては、出し方の悪いところ、あるいは、外国人の方が多く住んでいるところ、地域から寄せられる情報をもとに、QRコードが入った多言語で作りましたステッカーを、既に貼付もさせていただいております。ただ、今回、なかなかイベントや、店頭啓発、そういったことがなかなか難しいものですから、SNSや新たな情報発信を行っております。また、宅建協会に協力要請を行い、予め用

意した、ごみの出し方、分け方のQRコード入りの三角ポップを各加盟店の皆様へ配架をしていただいております。新たな発信方法を考えながら、皆さん、地域の方へ働きかけていきたいと考えております。

福島議員：よろしく申し上げます。8ページの花いっぱい明るいまち事業ですけれども、花いっぱい運動の推進の仕方、これは全区でやるというよりも、主要なところで、集中的に行うというようなイメージなんでしょうか。

中山中土木事務所長：そうですね。先生のおっしゃるとおり、お申込みのあったところに対して、花苗をお配りするということなので対応させていただきますので、全区押し並べという形ではございません。

福島議員：花苗提供は、いつ募集するというようなことは、これから広報されるのでしょうか。

梅津中土木事務所副所長：そうですね。ちょっと、コロナの関係で、苗を作る作業が遅れてまして、これから、また作ってお配りしていく形になります。

福島議員：中土木の方でお作りになる感じで。

梅津中土木事務所副所長：子どもたち、保育園の園児さんに、苗、種を植えてもらったりだとか、そういうことを一緒にやったりします。

福島議員：ありがとうございます。16ページでございますが、虐待だけではないのですが、みんなで子育てやSTOPザ虐待の事業で、コロナの関係で、こんにちは赤ちゃんなどの訪問がしばらく止まっておりましたけれども、現状は、どんな感じになっているのでしょうか。

瀬戸こども家庭支援課長：こんにちは赤ちゃん訪問ですが、緊急事態宣言の収束を受けまして、6月から、コロナの対策を講じた上で順次再開をするということで行っております。ただ、緊急事態宣言中で訪問対応できなかった方につきましては、まずは、出生連絡票等をいただいたときに御連絡をして、そのときの状況をお伺いしました。何か困りごとがあるときは、相談の連絡先をお伝えいたしまして、対応させていただきます。

福島議員：分かりました。あとは、24ページですが、商店街の魅力アップ、先ほども話があったところですが、これは商店街ごとに区役所としては、担当者を決めたりしているのでしょうか。あまたあるので、どういうふうに進められるのかと思ひまして、経済局主体ということなん

ですけど、区役所的には、どのような取組なんでしょうか。

金子地域振興課長：まず、今回の5月補正の事業については、区長が大きな商店街を訪問し直接説明を行い、それから、その他の商店街につきましては、経済局が各商店街の方に周知をしている状況となっております。区取組としましては、市取組でも、商店街のデリバリー、宅配について、ホームページでPRしてございますけれども、市は全市版として取り組んでおりますので、中区については、中区のホームページにおきまして、中区の分だけを抽出しまして、その分の広報や、横浜市の取組以外では、中華街パーキングでのドライブスルーの取組や関内まちづくり振興会のテイクアウト&デリバリーの取組を区のホームページでしっかり紹介しながら、区としてやれることに取り組んでいきたいと考えております。

福島議員：区役所で担当、人員は、いないということもあると思うんですけども、どうなんでしょうか。

金子地域振興課長：区の商店街の担当は、二人おりますけれども、その二人の担当で、全ての商店街を担当しています。

福島議員：町内会ごとの職員さんの担当は、今も決めてますか。

金子地域振興課長：地区につきましては、各課の課長で、地区担当がいますが、商店街については、地域振興課の職員が全ての商店街を担当しております。

福島議員：分かりました。地区ごとの担当一覧表みたいなものをいただけますか。

直井区長：大丈夫です。

松本議員：いろいろ今回ですね、コロナの影響で、大分中止になった事業が、もう出てるんですけども、この予算の中で、区づくり推進費の中で、中止になった事業費っていうのは、どうなるの。

森山総務課長：まだ集計をしておりませんので、これから精査をさせていただきます。

松本議員：中止になった部分というのは、例えば、来年度は来年度で予算を立てる訳だから、今回、不用になった予算というのは、横浜市の方、これから当然、いろいろ補正、2次補正と出てくるんだけど、そっちの方に使われちゃうの。それとも、これはあくまでも区づくり。

直井区長：市全体の方針としましては、コロナで中止になった事業の予算

は、コロナ対策というか元気になるための事業実施など、今、補正組んで事業者等を支援しようとしています。中止になった事業の予算を無理に何かに充てようというのではなく、コロナ対策に回そうというところはございます。区づくり事業については、一義的にはまず、区民の皆様元気づくりといいますか、コロナに対する費用として活用したいと思っています。ですから、年度前半でいろいろな講習会、研修会、そういったようなものもいくつか中止になっておりますけれども、後半に元気を取り戻すようなものに充てていければというふうには考えています。

松本議員：そういった視点の中で、今、やはり、乳幼児健診だとか、健診業務って区民の健康を守るために、とても大切なんだけど、赤ちゃん学級もそうなんだけれども、中止になった事業というのは、例えば、秋口だとか冬場とか、中止と出ちゃってるんだけど、これは中止、延期はないの。

直井区長：そうですね。事業によっても異なりますが、例えば、年間に4回ぐらい予定していたものが、第一四半期のものは、だめでも、そのあと、できるものはやっていく。あとは、講師の先生にお願いしていたものは講師の先生が確保できるか、会場が確保できるかとか、いろいろな問題がありますし、団体の方と御一緒に進めているものは、団体の方のスケジュールで、もう一度できるのかとも。今、様々の中止になったものをどうするか、また、もともと今後やっていく予定のものもありますので、そこどうまく調整できるかの検討を、正に今やっているところでございます。

松本議員：そのへんの情報っていうのは、やはり区民の皆様、結構、知りがっていると思うので、決定、ある程度方向性が決まりましたら、極力、ホームページだけでなく、ホームページを使えない方も多くいらっしゃるから、区民に分かりやすい広報をぜひお願いをしたいと思っています。それと、商店街の方、僕なんかも、いろいろとお話を伺いに行くと、区長もわざわざ来てくれて、いろいろメニューを説明してくれたんで、皆さん喜んで。ですから、本当ありがたいと思っていますけれども、なかなかこの仕組みというのも、一筋縄ではいかないといったらおかしいけれども、商店街に加入していない店舗、ここは、10万円の対象外になっちゃうんだけど、新しく入ってもらえれば、その分が、また10万円ということで、当然、これは今の商店街がより繁栄していくた

めに新規の商店街の店舗を引きずり込む絶好のチャンスだと思ってるんで、ですから、そういった面では、ただ10万円の支給だけではなくて、商店街の組織の強化に、ぜひ、また、区の皆さんのお力を借りながら、各商店街のPRをしていただければ幸いと思っていますけれども。そのへんを商店街の加入促進というのでは、商店街の方から何かお話って、あがってきてる。

直井区長：そうですね。今回は、新たに加入した店も対象となるということから、お声がけしやすいというお話もいただいています。また、一方、新たに加入しようかと少し考えていらっしゃる店は、これが入るための動機付けとなるのですが、一方で、会費払ってまではと逡巡しているというようなお話も伺っています。ただ、商店街の方も、個々の店舗にお配りするというようなところもあれば、個々の店舗にお渡しするのではなく、商店街としていろんなことに取り組んでいくための資金にしたいとかいろいろあるようでございますが、いずれにしても、すごく、皆様が前向きに活用していただけるというような、姿勢を感じましたので、もっともっと広く、私どももお伝えして活用していただきたいと思っています。

松本議員：今回、対象の商店街ということで、そのへん、商店街に準ずる組織ということで、いろいろ商店街の関係、上の方は協議会だとか、飲食店の組合だとか、いろんな組織があって、それ全部入ったら会費倒れちゃうから、やっぱり商店の人も、ある程度、商店街の方に入っていない方もいらっしゃるのだけど、それ以外では協力をしてくれて、その中で、それは重複ができないけれども、どちらか一つでカウントしていいよってというような形になっているみたいなんだけど、そのへんをうまく活用して、商店街に入っていないなくても、これは、メリットがあることなんだよということを、より、例えば、飲食の組合でもPRをしてもらえれば、飲食の組合員の加入促進につながるわけですから、ただ単に、商店街の対策だけでなく、加入していないような個店の皆さんにもメリットがあるってことだっというのをやはり周知しないと、商店街に入っていない人は、なんだこれ、俺たちには関係ないだろうって、逆に、そんな目で見られちゃうんで、ぜひ、この仕組みをもう少し分かりやすく、皆さんにPRをしていただきたいなと思います。

直井区長：あとは、個々の商店の方が商店街に加盟するということに加え、

商店街で、これまでは区商連に入っていないところが、区商連に加盟しようとして、そういうようなお話もあるようです。そういう形になってくださいますと、さらに力が付くと思いますので、そうした動きも応援していきたいとは思っています。

松本議員：それとあと、もう一個、ちょっと教えてもらいたいと思ったんだけど、中区、西区にあるみなと工業会って、工業会の連合会があるのだけれども、いろいろ、そこなんかでも話を聞くと、やはり、サプライチェーンの問題で、かなり不安を持っている。いろんな材料が入ってこなかったり、中国とか、そうというところがまだ完全に戻っていないところがあって、安定的に生産ができないという不安がちょっと持つてるようなんだけど、やっぱり、中区、西区というのは、商業だけでなく工業でも、非常に力を持っているところなので、ぜひ、工業会に向けての支援っていうのを強めてもらいたい。横浜市の経済局の方でやってるのを中区も関わっているんで、ぜひ、いろいろな面で支持いただきたいのだけど、そのへん、何か、新たな名案は。

直井区長：そうですね。今、中区役所として、工業会に直接、支援をしていくメニューというのはございませんけれども、経済局は、こうした工業会支援も対象となっておりますので、中区内の事業者の皆様には、経済局と連携して、御支援させていただければと思います。

松本議員：ぜひ、経済局と連携して支援をお願いします。以上です。

伊波議員：コロナの関係で、家庭ごみが増えてますけど、中区、そのへんのはどういう具合ですか。

西村資源化推進担当課長：ごみ量の関係ですが、このコロナの影響もあり、前年度比で約16パーセント増えております。品目の関係で言いますと、缶・びん、ペット、それからプラスチック容器が非常に増えています。これは、不要不急の外出を避けるということで、非常に、ごみ出しの関係で増えておりまして、特に、プラスチックの関係では、家庭の中で温存できないので、どうしたらいいかというお問い合わせが、しばしばあり、プラスチックかさを減らしてもらうために、例として弁当の容器を細かく切っていただくなどして、かさを減らし、収集曜日まで温存していただくよう御理解と御協力をお願いしております。今回、7月からレジ袋が有料化ということもあり、自粛ということを取りまして、皆さんが、この自粛の間、プラスチックをはじめ、びん・缶・ペットボ

トルなどが、どれだけ消費されているのかを良く理解していただけたか
と思います。今回、イベント会場や店頭啓発などの実施が難しいことも
あり、海洋プラスチック問題やレジ袋の有料化、それに伴うマイバッグ
の促進などの情報を凝縮、冊子にまとめ、事務所のマンパワーを使い、
ポスティングによる情報発信を積極的に行い、コロナの関係が収束する
までの間、展開していこうと考えております。

伊波議員：第2波と言われている中で、今回、1か月の宣言が解除されま
した。先ほど、松本先生からも福島先生からもお話がありましたけれど
も、いわゆる、台風のシーズンに入ってきて、プラス地震が、いよいよ、
これまでは、例えば地震なら地震、風水害なら風水害というのがありま
したけど、そこへきて、今度は、コロナの関係で、風水害については、
区で拠点については地元でと役割分担の問題など真剣に考えて、いろい
ろなさっていると思うんですけど、プラスアルファ、動物の問題とかい
ろんなことが起きているので、そのへん、台風に備えて、避難所のこと
については、改善をしていく部分、何か具体的に現時点で考えているこ
とがあれば聞かせていただきたい。

直井区長：もともと、地震のときと風水害のときと避難の仕方が異なる、
また、どのタイミングで避難するのかというのが分かりづらいなどの課
題としてございましたけれども、今回、コロナのことで、では具合の悪
い方にどう避難していただくか。避難勧告は出ているのに、そのまま留
まっていたら、そんなことはできませんので、どのように避難してい
ただくか。これまでも避難所の中で、感染症を出さないためのマニユ
アルのようなものはございましたが、そもそも避難所は密そのものじゃな
いかと、そういうことが本当に課題として浮き彫りになったと思いま
す。最近はこの関係も、いろいろなメディアでも、かなり問題として
おρισして、私どもも、ここが今の段階では、最大の課題というよう
にとらえております。感染を起こさないために、今の段階でのフローチャ
ートのようなものを作成しまして、先ほどの総務課長から話をしました
けれども、まずは、皆様にお示しをしたいと思っています。ただ、まだ、
100パーセント完全というものはありませんから、まずは提示して、こ
れから区連会もごさいますので、地域の皆様や先生方の御意見もいろ
いろ伺って、どんどん改良していく、改善していく。そのような形で進め
ていきたいと思っております。本当に風水害、この間も、警報出ていま

	<p>すし、大雨の季節ですから、取り急ぎ、今の段階のものを。本当に、課題です。</p> <p>福島議員：21ページのまちづくり推進事業で、大岡川エリアということで、これもぜひ推進していただきたいんですけど。昨年度は、本牧エリアの盛上げというか、いろいろなヒアリングなどしていただいたんですけども、今後は、本牧のエリアは、どうしますか。お考えをいただきたい。</p> <p>金子地域振興課長：今まで、2年間、先生方も含め地域の方々から、いろいろお話を伺わせていただきました。その中で、本牧地区の特徴とか、近年の変化、必要な視点なんかも、いろいろお聞きすることができました。今年度の予定は、まずマリンFM、それからコミュニティカフェ本牧ベースに、情報が集まるような、そういう仕組みをコーディネートできればと思っています。今年1年間はマリンFM、コミュニティカフェなどと連携しながら、そういう仕組みを、一緒に考えていきたいと考えています。</p>
<p>備 考</p>	<p>この他に、福島議員から区提案反映制度の件で内容確認があり、後日、報告することとした。</p>